

2018年 年間教育実施記録

日程	内容	講師	対象者	目的／ねらい
4月	認知症学習会	稲村医師	外来看護師 訪問看護師	認知症の知識を深める
4月	心臓リハビリテーション	吉澤 Dr	リハ科職員	リハ介入に関する医学的知識を高める。
4月	医療安全、社会保障、感染対策、HPHについて、組織課題、高齢者疑似体験等	院長はじめ、管理部、委員会事務局等	新入職員 7名	①本部での集合研修から拠点病院業務へのつながりを理解する。 ②熊谷生協病院の良さを知り、元気よく現場業務に入れる準備期間とする。 ③熊谷生協病院の職員として、基礎知識をつけ、期待される役割を自覚する。 ④同期生同士のつながりをつくる。
5月	リスク管理	吉澤 Dr	リハ科職員	リハ介入に関する医学的知識を高める。
5月	医薬品に関する学習会 ：オフェブカプセル	メーカー担当者	薬剤師全員 医師	薬事委員として、医薬品の正しい情報を発信するために情報収集を行う
6月	早期離床のアセスメント	吉澤 Dr	リハビリ科職員	リハ介入に関する医学的知識を高める。
6月	移乗学習会	リハビリ新井 リハビリ永沢	2階介護士	全介助を想定した患者に対して、安全な介助方法、腰痛予防にも意識した介助方法を学び日々の業務に生かす
6月	SDHについて	武田先生	全職員	SDHとは？その視点について学ぶ
7月	嚥下障害・誤嚥性肺炎	吉澤 Dr	リハビリ科職員	リハ介入に関する医学的知識を高める。
7月	FreeS t y l e リブレ	アボットジャパン(株)	外来看護師	患者導入につき、外来看護師にて指導開始となるため
7月	移乗学習会	リハビリ新井	2階介護士	全介助を想定した患者に対して、安全な介助方法、腰痛予防にも意識した介助方法を学び日々の業務に生かす
7月	心肺蘇生講習会	岡野谷先生・古賀Ns	当院職員、隣施設職員等	AED・心肺蘇生法の実践ができる職員の育成・地域での当院の役割や活動を隣施設様に知ってもらう。
7月	手洗い・感染対策学習会	櫻井	食養科職員	手洗いの仕方の基本、調理時における手洗いのタイミングを理解し、食中毒予防につなげる。また、感染の恐れのある食器類が下膳されてきた場合の対処について周知する。

7月	身体拘束の歴史およびミニテスト	OT 鈴木	身体拘束委員会メンバー	身体拘束の理解を委員会メンバーで深めていくため
7月	医薬品に関する学習会 ：サムスカ+心不全ガイドラインについて	メーカー担当者	薬剤師全員 医師 看護師 など	薬事委員として、医薬品の正しい情報を発信するために情報収集を行う
7月	医薬品に関する学習会 ：フルティフォーム	メーカー担当者	薬剤師全員 医師 看護師 など	薬事委員として、医薬品の正しい情報を発信するために情報収集を行う 使い方や喘息患者の病態・アドヒアランスについて学ぶ
7月	手洗い学習会	食養科桜井	食養科スタッフ	手洗いの手順を確認
7月	新薬評価 1 回目	藤井	薬剤師全員	薬事委員として、医薬品の正しい情報を発信するために情報収集を行う
8月	講師都合によりお休み			
8月	2013 嚥下学会基準について	クリニコ	新人管理栄養士	2013 嚥下学会基準について知り、患者対応に活かす
8月	10 の基本ケア DVD 学習	DVD 視聴	全職種	10 の基本ケアについて理解を深める
8月	身体拘束における裁判事例	CW 柏葉	身体拘束委員会メンバー	身体拘束の理解を委員会メンバーで深めていくため
8月	手指衛生について	感染対策委員	全職種	感染法定研修① 感染予防の基本事項を学ぶ
9月	CT・レントゲン・画像の見方 (含む VF 嚥下各相の理解)	吉澤 Dr	リハ科職員	リハ介入に関する医学的知識を高める。
9月	ポジショニングの基本	ケープ	看護師・介護士・コメディカル	ポジショニングの基本を学び褥瘡予防につなげる
9月	原水爆禁止世界大会	リハビリ高坂 介護士栗田	全職員	原水禁についての理解を深める
9月	スピーチロック	CW 檜森	身体拘束委員会メンバー	身体拘束の理解を委員会メンバーで深めていくため
9月	医薬品に関する学習会 ：オレンシア点滴静注	メーカー担当者	薬剤師全員 医師 看護師 など	薬事委員として、医薬品の正しい情報を発信するために情報収集を行う

9月	医療感染関連対策概論	感染対策委員	全職種	感染法定研修② 感染予防の基本事項を学ぶ
9月	アウトブレイク対策の実際	感染対策委員	全職種	感染法定研修③ 感染予防の基本事項を学ぶ
9月	スチームコンベクションの使用法	食養科桜井	食養科スタッフ	新しく購入したスチームコンベクションの使用法を実演しながら説明
10月	嚥下造影症例提示	吉澤 Dr	リハ科職員	リハ介入に関する医学的知識を高める。
10月	身体拘束関連センサー類の紹介および使用方法	CW山口	身体拘束委員会メンバー	身体拘束への理解を深めるため、不要な身体拘束の代替案
10月	医薬品に関する学習会 ：ファセンラ皮下注	メーカー担当者	薬剤師全員 医師 看護師 など	薬事委員として、医薬品の正しい情報を発信するために情報収集を行う ヌーカラ点滴静注との使い分けなど検討する。
10月	医療安全(法定学習) 身体拘束の概要 身体拘束解除の取り組み 身体拘束の裁判事例	NS長沼、 寺島、CW 山口、檜森	職員全員	事故につながらないように、安心安全の医療介護の提供のきっかけに身体拘束の理解を深めてもらうため。
10月	認知症実践セミナーハンドブックの伝達講習	OT鈴木	認知症に興味のある職員	認知症の最前線の知識を研修会で学んできたため、他の職員にも伝達をする必要性を感じた。
10月	全国抑制廃止研究会と認知症ハンドブックセミナーの伝達講習	OT鈴木	リハ科職員	身体拘束と認知症の理解を深めるためにリハビリ科内に共有
10月	新人看護師向け麻薬の取り扱いについて	若林	新人看護師	医療用麻薬に関して、看護側で取り扱う際に注意が必要なことについて学んでいただく。
10月	感染経路別予防策と咳エチケット	感染対策委員	全職種	感染法定研修④ 感染予防の基本事項を学ぶ
11月	(10月分を延期したもの)画像所見(VF・胸部CT)	吉澤 Dr	リハビリ科職員	リハ介入に関する医学的知識を高める。
11月	関節可動域訓練	永沢	2階看護、介護	拘縮予防としてのアプローチ方法を学ぶ
11月	接遇学習会 DVD	DVD 視聴	全職員	医療スタッフの接遇マニュアルを学習し適切な対応ができるようスキルをつける
11月	感染食器の取り扱い	食養科桜井	食養科スタッフ	病棟から返却される感染した食器の洗浄の仕方
11月	全国抑制廃止研究会 伝達	リハ鈴木	身体拘束委員会	身体拘束の知識理解を深めるため

11月	感染性廃棄物と環境整備	感染対策委員	全職種	感染法定研修⑤ 感染予防の基本事項を学ぶ
12月	(10・11月分を延期したもの) 画像所見(VF・胸部CT)	吉澤 Dr	リハビリ職員	
12月	臨床推論	県連回復期・地ケア委員会	卒4～6職員・その他希望者	臨床推論の考え方を具体的な事例を通じて学ぶ。
12月	とろみの確認	食養科桜井	食養科スタッフ	汁につけるとろみの均一化
12月	認知症ケア加算の算定要件	リハ鈴木	身体拘束委員会	関連した加算の内容を把握する
12月	医薬品に関する学習会 ：トラディアンズ配合錠	メーカー担当者	全職員	薬事委員として、医薬品の正しい情報を発信するために情報収集を行う
1月	吉澤 Dr 学習会	吉澤 Dr	リハビリ科職員	
1月	尊厳とは憲法13条	リハ鈴木	身体拘束委員会	身体拘束を軽んじないために、尊厳を確認
1月	医薬品に関する学習会 ：パルモディア	メーカー担当者	全職員	医薬品の正しい情報を発信するために情報収集を行う
1月	医薬品に関する学習会 ：グーフイス	メーカー担当者	全職員	医薬品の正しい情報を発信するために情報収集を行う
2月	VF 所見と嚥下アプローチ	吉澤 Dr	リハビリ科職員	
2月	認知症ケア加算の算定条件について	OT 鈴木	身体拘束委員会メンバー	身体拘束に関わる加算の理解を深めるため。
2月	医薬品に関する学習会 ：モビコール	メーカー担当者	全職員	医薬品の正しい情報を発信するために情報収集を行う
2月	熊谷学会	なし	全職員	1年の活動内容・取り組みを発表し次年度に生かせるようにする
3月	嚥下造影について (VF所見交えながら)	吉澤 Dr	リハビリ科職員	リハ介入に関する医学的知識を高める。
3月	睡眠薬の副作用	CW 山口	身体拘束委員会メンバー	身体拘束の理解や知識を深めるため
3月	医薬品に関する学習会 ：ナルサス・ナルラピド・ナルペイン	メーカー担当者	全職員	医薬品の正しい情報を発信するために情報収集を行う
3月	新薬評価2回目	藤井	薬剤師全員	薬事委員として、医薬品の正しい情報を発信するために情報収集を行う

3月	第2回医療安全委員会法定学習 「ひやりはっと・事故報告書の書き方」	Ns 久保田	全職員	ひやりはっと、事故報告書の正しい記入方法を学び再発予防につなげる
----	--------------------------------------	--------	-----	----------------------------------